

令和4年度第2回全国科学博物館協議会理事会・総会
及び第30回研究発表大会開催要項

- 趣旨 科学系博物館に共通する課題や各館の活動成果について発表及び協議し、学芸員等博物館専門職員の活動の一層の充実に資する。
- 期日 令和5年2月15日(水)・16日(木)
- 主催 全国科学博物館協議会、浜松科学館、一般財団法人全国科学博物館振興財団
- 実施形態 浜松科学館(所在地:静岡県浜松市中区北寺島町256-3)及びオンライン開催 ※会員限定で総会及び研究発表大会のライブ配信をする予定。
- テーマ 「誰もが利用できる包摂的な科学博物館～人々のニーズや社会の要請に応える」

令和5年2月15日(水) 令和4年度第2回全国科学博物館協議会理事会・総会

(9:30～

10:00～11:00 プラネタリウム特別放映 【浜松科学館3階プラネタリウム・ドーム】

※現地のみ。途中入退室はご遠慮ください。

11:30～13:00 理事会 【浜松科学館1階セミナールーム】

(13:00～13:30 総会の現地及びオンライン参加受付)

13:30～16:10 総会 【浜松科学館1階ホール】

13:30～13:40 理事長・開催館挨拶

13:40～14:20 議事

14:20～14:40 《休憩》

14:40～15:00 博物館振興施策等概要説明 文化庁文化戦略官 井上 卓己氏

15:00～15:20 話題提供「ICOMブラハ大会報告」 ICOM日本委員会事務局長 半田 昌之氏

15:20～16:10 講演「科学館における教育普及とエンターテインメントの両立

～サイエンスショーの実践から～」

浜松科学館 チーフエデュケーター 上野 元嗣氏

令和5年2月16日(木) 第30回研究発表大会

(9:00～ 現地参加およびオンライン参加受付)

9:30～9:35 開会挨拶 【浜松科学館1階ホール】

9:35～11:30 事例発表 (詳細は別紙) ※休憩適宜

11:30～11:40 ポスター発表者によるインデックス・プレゼンテーション

11:40～12:30 《昼食・休憩》

12:30～13:30 ポスターセッションコアタイム※現地のみ 【浜松科学館1階セミナールーム】

13:30～13:35 《休憩》

13:35～16:15 事例発表、総括 ※休憩適宜 【浜松科学館1階ホール】

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンライン等による開催に変更する可能性があります。また、令和元年度に引き続き、今回も試行として、希望があれば近隣の加盟館外の博物館関係者の総会(議事以外)、研究発表大会への参加を可としています(参加費徴収)。なお、申し込み状況によっては参加をお断りすることもあります。

第30回研究発表大会

大会テーマ：誰もが利用できる包摂的な科学博物館～人々のニーズや社会の要請に応える

口頭発表詳細

日 時： 令和5年2月16日（木） 9:30～16:15

【会場】（浜松科学館 1階ホール及びオンライン）

【開会】

9:00～ 《 受付開始 》
9:30～9:35 《 開会挨拶 》

【第1ブロック：多様な属性の人々の包摂】

9:35～ 研究発表① 特別な支援が必要な子どもたちを対象とした教育普及活動
〔静岡科学館る・く・る 藪寄清香・加藤友梨香〕

9:50～ 研究発表② “誰一人取り残さない”Museumの包摂的プログラムの実践とその検証
～千葉市科学館の事業を中心に考察し提言する～
〔千葉市科学館 新 和宏〕

10:05～ 研究発表③ 科学館が「やさしい日本語」を導入するということ
～多摩六都科学館の多文化共生の実践から～
〔多摩六都科学館 高尾 戸美〕

10:20～10:30 《 質疑・まとめ 》
10:30～10:35 《 休憩 》

【第2ブロック：ICTの活用】

10:35～ 研究発表④ 誰を包摂するのか
～博物館が想定する未利用者・非利用者と活動戦略～
〔大阪市立自然史博物館 佐久間大輔・石井陽子〕

10:50～ 研究発表⑤ 科学館ボランティアによるオンライン科学工作教室の継続的な実践
〔大阪市立科学館 上羽 貴大〕

11:05～ 研究発表⑥ 誰でも利用できる「自然教育の場」をめざして
～学習サイト「自然教育園で学ぶ自然のメカニズム」の開発と活用～
〔国立科学博物館 下田彰子・遠藤拓洋・小川義和
筑波大学 山田博之、東京農工大学 齊藤有里加
NPO法人地域自然情報ネットワーク 梶並純一郎〕

11:20～11:30 《 質疑・まとめ 》

【ポスター発表】

- 11:30～11:40 《ポスターセッション インデックス・プレゼンテーション》
11:40～12:30 《昼食・休憩》
12:30～13:30 《ポスターセッション コアタイム》
13:30～13:35 《休憩》

【第3ブロック：障がい者に配慮した展示・学習支援】

- 13:35～ 研究発表⑦ 触って知る「タッチカービング教室」の実施
〔港区立みなと科学館 河野 由佳〕
- 13:50～ 研究発表⑧ 日本科学未来館におけるアクセシビリティ向上の取り組みについて
〔日本科学未来館 永田 順子〕
- 14:05～ 研究発表⑨ 宇宙をさわる特別展と手話付きオンライン事業
〔明石市立天文科学館 鈴木 康史〕
- 14:20～ 研究発表⑩ コミュニティや個に応じた学習展開を探る：
インクルーシブなアウトリーチプログラムの実践
〔神奈川県立生命の星・地球博物館 田口公則・佐藤武宏〕
- 14:35～14:45 《質疑・まとめ》
14:45～14:50 《休憩》

【第4ブロック：社会的課題への対応】

- 14:50～ 研究発表⑪ 12年前の東日本大震災を全国の人に伝える
〔磐梯山噴火記念館 佐藤 公
福島県立博物館 筑波 匡介
福島大学 瀬戸 真之〕
- 15:05～ 研究発表⑫ コロナ禍から開催した閉館後イベント等について
〔新江ノ島水族館 崎山直夫・岩崎菜奈・野上まみ・山崎祐一郎〕
- 15:20～ 研究発表⑬ アートで伝える国連海洋科学の10年
〔糸魚川フォッサマグナミュージアム 香取 拓馬〕
- 15:35～ 研究発表⑭ 「包摂的で持続的な社会を考える」学習に向けた教職員対象セミナーの実施
「SDGsを使って子どもたちと社会を見つめるー身近な公園に出かけようー」
〔兵庫県立人と自然の博物館 安田英生・福本優・橋本佳延・高田知紀〕
- 15:50～16:00 《質疑・まとめ》

【閉会】

- 16:00～16:15 《全体総括》

ポスターセッション詳細

日時 : 令和5年2月16日(木) 12:30~13:30

【会場】 (浜松科学館 1階セミナールーム)

- 1 博学連携による子どもの発達段階に応じて学ぶ身近な自然「蜃気楼」
〔千葉県立中央博物館 大木 淳一〕
- 2 女性科学者の本からジェンダーギャップを考える
～ミニ企画展「科学の本棚Ⅱ 科学と女性」で発信したこと～
〔多摩六都科学館 原 朋子〕
- 3 静岡科学館における大人限定夜間開館の取り組み
〔静岡科学館る・く・る 代島 慶一〕
- 4 既存の事業で実施できる放課後デイサービスや児童発達支援事業所との連携
〔きしわだ自然資料館 風間 美穂〕
- 5 誰もが楽しみながら学べる博物館を目指して
～くじらの博物館の取り組みを事例として～
〔太地町立くじらの博物館 中江 環〕
- 6 未就学児のふりかえりによる学びを補助する絵本作り
〔滋賀県立琵琶湖博物館 中村 久美子〕